

J0005 が死亡しました

先日3月30日、左脚骨折により当公園で治療していたJ0005（2008年生れ、メス）が、4月6日に死亡しました。死亡原因は、左脚下腿骨骨折による合併症と思われます。

平成21年度 特別観察会「ホタルの夕べ」のご案内

ホタルが現れるのは、どんなところかな？コウノトリの郷公園でホタルを観察してみよう！

日程：平成21年6月12日（金）19：30～21：00
 対象者：小学生～一般 *小学生以下は保護者同伴が望ましい。
 また、中学生以下のコウノトリの郷公園までの交通手段については、保護者で対応願います。
 定員：30名（申し込み多数の場合は、抽選により決定）
 内容：お話「ホタルの生活」、観察
 応募締切：平成21年6月5日（金）
 保険料：21円
 申込方法：次の～を明記したハガキ・FAX・E mail のいずれかでお申し込みください。
 郵便番号・住所 氏名（ふりがな） 生年月日
 電話番号 「ホタルの夕べ」への参加を希望
 *個人情報は保険の手続きおよび緊急時の連絡以外に利用することはありません。



コウノトリ・サイエンスカフェ（鶴見カフェ）のお知らせ

話題提供者：内藤 和明（県立コウノトリの郷公園研究員）
 日時：平成21年5月17日（日）16：00～17：30
 場所：サンストークアベニュー内なごみ茶屋（豊岡市中央町3-37）
 定員：約25名（申し込みは不要です。当日、会場にお越しください。）
 コーヒー等の飲み物・ケーキ代 500～600円程度が必要です。



平成21年度 子どものための野生復帰講座 参加者募集中

*詳しくは当公園のホームページ内お知らせ欄をご覧ください。

コウノトリの羽数及び繁殖状況（H21.4.30現在）

1 飼育のコウノトリの羽数

	オス	メス	不明	計
県立コウノトリの郷公園	32	36	1	69
附属飼育施設コウノトリ保護増殖センター	16	16		32
計	48	52	1	101

2 野外にいるコウノトリの羽数

	オス	メス	不明	計
放鳥コウノトリ	8	11		19
野外繁殖により増えたコウノトリ	1	5	1	7
計	9	16	1	26

*野外の場合は、巣立つまでは羽数に入れておりません。

3 飼育下の繁殖状況

親鳥	第7ケージ	卵の状況（個）					計	育雛状況（羽）	備考（産卵数）
		巣の中	托卵	孵卵器	無精卵	中止卵			
新規ペア	第7ケージ	4					4		（4卵）
Tペア	繁殖ケージ1			3			3	1	Lペアが育雛（4卵）
Wペア	第1ケージ			4			4		（4卵）
計		4		7			11	1	（12卵）

4 放鳥コウノトリの繁殖状況

親鳥	卵等の状況（個）							計	育雛状況（羽）	備考（産卵数）
	巣の中	無精卵	中止卵	破卵	死亡	不明	計			
J0275 × J0228			1		2	2	5	1	百合地（ゆるじ）地区人工巣塔（6卵）	
J0391 × J0294					1		1	3	戸島（としま）地区人工巣塔（4卵）	
J0405 × 野生個体				10			10		コウノトリの郷公園（10卵）	
J0001 × J0362				1			1	3	保護増殖センター前電柱上（4卵）	
J0381 × J0296	4						4		伊豆（いず）地区人工巣塔（4卵）	
J0389 × J0384							4		赤石（あかいし）地区人工巣塔（4卵）	
計							25	7	（32卵）	

（注）親鳥J0389 × J0384の卵の状況については、現在検査中のため、状況数を記載しておりません。

問い合わせ先
 兵庫県立コウノトリの郷公園
 〒668-0814 豊岡市祥雲寺字二ヶ谷128番地
 TEL：0796-23-5666
 FAX：0796-23-6538

E-mail：kounotori@stork.u-hyogo.ac.jp
 URL：http://www.stork.u-hyogo.ac.jp
 開園時間：9：00～17：00
 休園日：毎週月曜日（休日に当たるときはその翌日）・12月28日～1月4日

いきもの通信

No.141

兵庫県立コウノトリの郷公園
 Hyogo Prefectural Homeland for the Oriental White Stork
 平成21（2009）年4月30日編集
 平成21（2009）年5月10日発行

今年の繁殖は...PART

4月に入り、野外では次々とヒナが孵化しています。平成21年4月30日現在の状況をお知らせします。

今年は、野外で6ペアが産卵しています。3月に百合地地区人工巣塔から今年初めての孵化がありましたが、4月にさらに2箇所から孵化がありました。それぞれの場所の状況は、下表のとおりです。

繁殖場所とペア	4月の様子
百合地地区人工巣塔 J0275（2000年生れ、オス） J0228（1998年生れ、メス）	3月31日に3羽のヒナに、親鳥が餌を与えているところが観察されていきました。ところが、4月3日、巣塔下に1羽のヒナが死んでいるのを地元の方が発見し、当公園職員が回収しました。その後4月24日に、高所作業車を使用し、巣内に1羽のヒナと1卵を確認しました。卵を回収するとともに、巣内のヒナに足環装着及び体重計測などを行いました。ヒナの体重は、3.7kgありました。
戸島地区人工巣塔 J0391（2004年生れ、オス） J0294（2001年生れ、メス）	4月3日、3羽のヒナと1卵を確認しました。4月6日、市民の方からの情報提供された映像により4羽のヒナを確認しました。4月9日、当公園モニター職員の目視により親鳥が死亡したと推定されるヒナを食したことを観察しましたが、以降3羽の元気なヒナを確認しています。  4月26日 撮影
赤石地区人工巣塔 J0389（2004年生れ、オス） J0384（2004年生れ、メス）	3月からペアが交代で抱卵や転卵をし、産卵が推定されていましたが、孵化予定日を1週間以上経過しても孵化の兆候が全くみられませんでした。そのため、4月21日に確認作業を行い、4卵を確認し回収しました。卵の状況については、現在検査中です。
保護増殖センター前 電柱上 J0001（2006年生れ、オス） J0362（2003年生れ、メス）	4月23日、2羽のヒナ及び1卵（小穴あり）を確認、また4月28日には3羽のヒナを確認しました。  4月23日 撮影
伊豆地区人工巣塔 J0381（2004年生れ、オス） J0296（2001年生れ、メス）	4月9日、1卵確認しました。4月24日、4個の産卵を確認しました。
郷公園繁殖ケージ屋根 J0405（2006年生れ、オス） 野生個体（2006年に豊岡市に飛来推定2005年生れ、メス）	4月に入っても、野生個体の産卵とカラスによる卵の捕食が続き、10卵まで産み続けました。4月11日産卵場所である繁殖ケージ3の巣材を撤去すると同時に、再び馴化ケージ1南側の簡易人工巣塔へ誘導しました。